

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 1

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		(2) 事業実績	さらに開かれた議会を目指し、平成22年度第三回定例会の決算特別委員会からインターネット中継を開始し、平成23年度第一回定例会の予算特別委員会も実施しました。また、議会開会を案内するポスターに女子美術大学の学生デザインを年5回継続して採用し、地域との協働も推進しています。		
		政務調査費			75,753
		議会広報経費(委託等)			35,105
		会議録作成経費(委託等)			11,522
		管理事務費(委託、物品購入・修理等)			3,308
		その他(議員経費、議会及び委員会経費、議会図書室経費)			10,899

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 推進	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	①平成12年に情報公開制度を創設 ②平成13年に開設した公式ホームページに会議録検索システムを平成15年に追加 ③平成18年に日額の費用弁償を廃止 ④平成19年に政務調査費の収支報告の際、領収書等の証拠書類の提出を義務付け ⑤平成20年第一回定例会から土曜議会、本会議のインターネット録画中継、1日1委員会を開始 ⑥平成21年6月に政務調査費に関する常設の検討機関として調査検討委員会を設置 ⑦平成22年第三回定例会から決算特別委員会のインターネット録画中継を開始(決算特別委員会・予算特別委員会のみ)
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	議会を傍聴していただいた方から、傍聴席における意思表示等や、議会・委員会資料についてご要望をいただきました。また、土曜議会開催時に行っているアンケートでは、議会を土曜日に開催することについて、続けて欲しいと38.5%~75%の方からご回答いただき、21年度と比べて土曜開催に肯定的な方の割合が7ポイント程度下降しました。
	今後の予測	地方分権の動きにより、自治体の権限が拡大したことに伴い、区議会の役割も大きくなってきています。この状況に対応するために、区民意見の反映、議員の政策立案能力の向上、情報公開の推進等の必要性がますます高まってくると思われます。
	評価と課題	住民監査請求や住民訴訟が相次いで提起されるなど、政務調査費に対する区民の目は大変厳しく、今後政務調査費の適正な執行の確保に、より一層努めていく必要があります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
		委託等により実施しているものは、概ね前年度どおりに継続していますが、時間的制約等により議会を傍聴できない皆さまへのサービスの一環として、区議会のホームページで、常任委員会についてもインターネット録画中継を平成23年度から開始することが決定した場合、新たな経費が発生します。また、より親しみやすい議会だよりにするため、文字ポイントを大きくし、段数を減らし、イラストを多用するなどし、ページ数を4ページから8ページへ増やすことにより、新たな経費が発生します。	

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 2

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				報酬	
		期末手当			144,594
		その他（ 共済費 ）			56,133
	(2) 事業実績	区議会議員に議員報酬を毎月、また期末手当を6月、12月、3月に支給しました。なお、議員報酬の月額ですが、議長:909,000円、副議長:779,000円、委員長:647,000円、副委員長:620,000円、議員:599,000円と条例で定められており、平成6年12月以降、額の増減はありません。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか <input type="text" value="実現していない(実現は困難)((4)へ)"/>	(2) 協働等の相手 <input type="text"/>	
	(3) 協働等の形態 <input type="text"/>	(4) 協働等の今後のあり方 <input type="text" value="行政直轄"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	地方自治法に基づく議員定数は56名ですが、杉並区議会議員定数条例により、平成15年5月から定数は48名に減員されています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	議員定数の削減について、ご意見をいただいています。
	今後の予測	議員報酬と期末手当は、地方自治法第203条に基づき支給しておりますが、具体的な支給額や支給方法は、区の条例で定めています。今般の社会情勢に見合う適正な額についての議論が活発になるものと思われま。
	評価と課題	地方公共団体の権限や機能が拡充する中で、地方議員に求められる活動領域も拡大しており、平成20年の地方自治法改正により、議員報酬についてその位置づけが明確化されました。議員報酬は、議員活動を支えるものである一方、今日の社会経済情勢を反映しながら、区民に理解され、支持されるものであることが求められます。今後とも特別職報酬等審議会などの意見を聴きながら、常に適正な制度運営に努め、効率的で円滑な議会運営を目指します。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		区議会事務局の運営		款	1	項	1	目	2	事業	1	整理番号	3
担当部課名		区議会事務局		係名	庶務係		連絡先電話番号	2302		昨年度整理番号	3		
上位施策No・施策名		70 内部事務等の適正かつ効率的な執行		予算事業区分				既定事業					
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	22	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 地方自治法 (2) 杉並区議会事務局条例							
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○区議会の運営や議員活動等が効率的に行われる。		活動指標名(式)		(1) 区議会事務局職員数 (2) 本会議・委員会等開催日数							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○各委員会の行政視察に職員が随行する。 ○議長が交流都市を訪問する際、職員が随行する。 ○事務局の庶務的事務に要する経費を支出する。		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
				成果指標名(1)									
				算定式・指標の説明等									
				成果指標名(2)									
				算定式・指標の説明等									
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画					
指標	活動指標(1)	① 人	17	17	17	18	18	18	100.0				
	活動指標(2)	② 回	125	125	129	130	124	130	95.4				
	成果指標(1)	③											
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤ 千円	2,061	3,487	2,062	2,484	1,967	2,752	22年度予算執行率% 79.2				
	(内) 投資的経費等	⑥ 千円	0	0	9	0	0	0	特記事項 ○行政視察の随行について、日数減などの理由により、不用額が発生しています。				
	(内) 委託費	⑦ 千円	16	20	19	20	20	20					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧ 人	1.08 0.33	1.08 0.33	1.13 1.00	1.10 1.00	1.11 1.00	1.10 1.00					
	人件費	⑨ 千円	9,774	9,589	10,033	9,812	9,901	9,812					
	(内) 非常勤職員分	⑩ 千円	924	922	2,793	2,950	2,950	2,950					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪ 千円	12,759	13,998	14,888	15,246	14,818	15,514					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫ 円	750,529	823,412	875,235	847,000	823,222	861,889					
	受益者負担分	⑬ 千円	0	0	0	0	0	0					
	国からの補助金等	⑭ 千円	0	0	0	0	0	0					
都からの補助金等	⑮ 千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等	⑯ 千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)	⑰ 千円	0	0	0	0	0	0						
差引:一般財源(⑪-⑰)	⑱ 千円	12,759	13,998	14,888	15,246	14,818	15,514						
受益者負担比率⑬÷⑪	⑳ %	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 3

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				旅費(委員会行政視察・交流自治体行事参加随員)	
		管理事務費			964
		近接地内旅費			31
		その他 (特別区事務局長会等分担金)			29
	(2) 事業実績	議長、副議長による友好都市訪問、各常任委員会の行政視察に事務局職員が随員しました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか <input type="text" value="実現していない(実現は困難)((4)へ)"/>	(2) 協働等の相手 <input type="text"/>	
	(3) 協働等の形態 <input type="text"/>	(4) 協働等の今後のあり方 <input type="text" value="行政直轄"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	事務局の書記は、平成4年度以降常勤職員のみ18名で構成され、16年度には常勤職員17名に、18年度には常勤職員16名と嘱託職員1名を含む17名となりましたが、政務調査費や情報公開等の議会法務に関する業務に対応するための組織改正に伴い、22年度からは再任用職員が新たに1名配置され、現在18名(常勤16、再任用1、嘱託1)の体制となっています。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	経費の削減等について、ご要望をいただいています。
	今後の予測	議会改革の動きの中で、行政視察についても考察の対象となることが予想されます。
	評価と課題	事務処理の効率化や非常勤化に取り組み、常勤職員数を平成15年度の18名から16名に削減してきました。地方分権の進展により、区議会が担うべき役割が大きく変わろうとしている中で、区民の期待に応えるためには、議会の政策立案能力と政策法務能力の充実・向上が課題となっていたため、平成22年度に議会法務担当係長を新設し、課題克服に努めてきました。今後、事務局職員一人ひとりの能力向上を通じて、議会の果たすべき新たな役割と、課題解決に対応できる体制を築いていきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更

特記事項	議会と議員活動をサポートするための経費のため、大幅な増減は見込めませんが、これまでと同様に予算の適正な執行と経費の削減に努めます。
------	---

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		契約事務		款	2	項	1	目	5	事業	3	整理番号	25	
担当部課名		政策経営部経理課		係名	庁舎管理係 (契約担当)		連絡先 電話番号	1536		昨年度 整理番号	23			
上位施策No・施策名		70 内部事務等の適正かつ効率的な執行		予算事業区分							既定事業			
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	39	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策 番号	施策 番号	事業 コード	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input checked="" type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	杉並区と契約締結を希望する法人及び個人							
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	契約の締結行為の公平性、競争性、透明性を確保し、かつ、契約相手の良好な履行を確保する。このことにより、区財産の価値の向上、サービスの質の向上、良好な財政運営に貢献する。							根拠 法令 等	(1) 地方自治法第96条、第234条から第234条の3 (2) 地方自治法施行令第121条の2、第167条から第167条の17				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○履行の確実な業者を選定し、それらの業者による競争性・透明性・公平性のある契約手続きを経て、契約を締結する。 ○契約締結後は、良好な履行を確保するため、履行状況の確認・検査を行う。							活動指標名(式)	(1) 契約件数 (2) 検査件数				
成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標												
成果指標名(1)		債務不履行等契約事故発生件数												
算定式・指標の説明等														
成果指標名(2)														
算定式・指標の説明等														
区分	単位	20年度		21年度		22年度		23年度 計画	計画(目標値)に 対する22年度の 達成率 %					
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績								
指標	活動指標(1)	①	件	1,938	2,000	1,979	2,000	1,860	2,000	93.0				
	活動指標(2)	②	件	507	700	551	600	504	600	84.0				
	成果指標(1)	③	件	1	0	0	0	0	0					
	成果指標(2)	④												
総事業費・ コスト把握	事業費	⑤	千円	2,210	2,177	1,457	1,881	1,018	1,881	22年度予算執行率% 54.1				
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0		特記事項				
	(内)委託費	⑦	千円	1,286	1,029	475	733	349	733					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	7.00 4.00	7.00 4.00	7.66 4.00	7.00 4.00	7.89 4.00	7.00 4.00					
	人 件 費	(内)常勤職員 分(超勤分含)	⑨	千円	63,350	62,153	68,013	62,440	70,379		62,440			
		(内)非常勤 職員分	⑩	千円	11,200	11,172	11,172	11,800	11,800		11,800			
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	76,760	75,502	80,642	76,121	83,197	76,121					
	単位あたりコスト (⑪-⑥)÷①	⑫	円	39,608	37,751	40,749	38,061	44,730	38,061					
	財 源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0		0			
		国からの 補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0		0			
都からの 補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の 補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計 (⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0					
差引:一般 財源(⑪-⑰)		⑱	千円	76,760	75,502	80,642	76,121	83,197	76,121					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 25

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		施工能力等審査型総合評価方式の試行実施 委託・物品購入の年間発注予定の公表 委託業務の履行に対する履行評価の実施 その他 ()	7	件	
			13	件	
			317	件	
					1,018
	(2) 事業実績	施工能力等審査型総合評価方式の試行実施を行い、本格実施に向けた検証を行いました。また、厳しい地域経済の現況や区内事業者育成の観点から、入札における区内業者限定枠の拡大等の臨時的緊急措置を継続して実施しました。さらに、地域建設業の資金調達強化策の導入、労働関係法令遵守の確認制度の充実、暴力団等排除対策等を検討し、それぞれ23年度からの実施に向け、規定類の整備や事業者への周知を行いました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか <input type="text" value="実現していない(実現は困難)((4)へ)"/>	(2) 協働等の相手 <input type="text"/>	
	(3) 協働等の形態 <input type="text"/>	(4) 協働等の今後のあり方 <input type="text" value="行政直轄"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	行政事務のアウトソーシングが進行するなかで、区民にとって良好なサービスの提供を確保するため、発注者としての責任が増大しています。また、より詳細かつ明確な規定の策定が求められており、このため、契約条項、仕様書の内容の充実が必要になってきています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	汚職・談合が、区における契約締結行為でもあるのではないかと、との疑念をもたれることもあり、落札率、落札業者に対する厳しい評価があります。また、施設管理業務の委託などでは、受注業者の業務履行にあたって「接遇」や「服装」等、契約の本来的な履行と直結しない点に関しても厳しい評価が生じてきています。
	今後の予測	東日本大震災の影響等により、地域経済の一層の悪化が懸念される中、事業者を取り巻く環境はきわめて厳しいものがあります。こうしたことが、悪質な業者の横行や履行の質の低下に繋がらないように、引き続き、業者の選定方法、契約履行の確認強化が求められています。
	評価と課題	行政の契約は、最終的にエンドユーザーである区民に価格と品質が総合的に優れた公共調達を実現することが目的です。毎年度、入札制度の改革・契約制度の改正により、公平性を念頭に、健全な競争に基づく契約と、確実に良好な履行の確保に努めてきました。契約が多種・多様となる今後も、公正性、競争性、透明性をしっかりと確保していくとともに、確実に良好な履行の確保を図っていかねばなりません。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input checked="" type="radio"/> 実施方法の変更
	公共調達の原資が区民からの税金であることを踏まえ、区は、公金の適正かつ効率的な活用のために、入札と契約における透明性・公平性・公正性を確保し、健全な競争性に基づく、現在の入札契約制度を確立してきました。近年、こうした公共調達の原理原則に加え、契約において良質なものをサービスを提供するためには、契約の相手方となる事業者の活性化や経営の安定が欠かせなくなってきました。さらに、関係法令を事業者に遵守させ、従事者の適切な労働環境を確保させることは、履行の確保の上で、重要な課題となってきています。こうしたことを踏まえ、総合評価方式の拡充策、委託先労働者の賃金水準への関与のあり方、区内事業者育成策等を検討していきます。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 30

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				区交際費、香典、賀詞交歓会、同和対策等	
		表彰事務			2,586
		各種分担金			176,766
		総務事務			8,764
		その他 ()			0
	(2) 事業実績	平成22年度の総務事務は、通常業務については滞りなく実施し、臨時的・突発的な課題についても的確に対応しました。また、3月11日に発生した東日本大震災では、災害時相互援助協定を締結している南相馬市を支援するため、義援金を区民・事業者・職員から募るなどの活動も行いました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか <input type="text" value="実現していない(実現は困難)((4)へ)"/>	(2) 協働等の相手 <input type="text"/>	
	(3) 協働等の形態 <input type="text"/>	(4) 協働等の今後のあり方 <input type="text" value="行政直轄"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	区と区議会や行政委員会との連絡調整、各課との連絡調整の他、区政功労表彰、賀詞交歓会、人権問題など、幅広い業務を行っています。また、「総務」という性格上、他課に属さない業務を担当することが多くあります。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	税金の適正な執行、費用対効果を考えた執行を心がけるようにというご意見をいただいております。
	今後の予測	東日本大震災が発生した際、危機管理対策課や防災課などと協力しながら震災対応に従事したように、臨時的・突発的な業務が生じることが多いと予測されます。
	評価と課題	平成22年度については、通常業務を滞りなく執行し、突発的な業務についても的確に対応してきました。平成23年度については、東日本大震災による南相馬市への支援をいかに継続していくかが課題となります。被災地のニーズを的確にみ取り、人的支援・義援金等の金銭・物質的支援を関係課と調整しながら進めていく必要があると考えています。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
	<p>杉並区は、平成24年10月1日で区政施行80周年を迎えます。区民・事業者・区議会等と協力しながら、記念事業を計画していきたいと考えています。その際に、最小の経費で最大の効果が得られるよう、そして前例だけにとらわれない自由な発想のもと、事業を計画していきたいと考えます。</p> <p>東日本大震災で寄せられた義援金の額やタイガーマスク現象などをみると、日本にも寄附文化の下地はあるものと思われる。寄附の目的や寄附したお金が有効に使われていることなどが明らかになれば、これからも寄附の件数は増えていくものと考えます。「寄附の目的」や「透明性」などをポイントに、区がどう働きかければ寄附をしようという共感が得られるかを調査・研究していきたいと考えています。</p>		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		外部監査		款	2	項	1	目	6	事業	2	整理番号	31
担当部課名		区長室総務課		係名	総務係			連絡先電話番号	1436		昨年度整理番号	29	
上位施策No・施策名		70 内部事務等の適正かつ効率的な執行		予算事業区分								既定事業	
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	14	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業
	対象	<input type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等						
	区が実施している施策		(1) 地方自治法第252条の27 (2) 杉並区外部監査契約に基づく監査に関する条例										
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標名(式) (1) 個別外部監査実施件数 (2)										
活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標 ※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 算定式・指標の説明等											
個別外部監査を実施することで、施策、事務事業の運営に対する透明性、信頼性の向上を図るとともに、監査結果を参考にして今後の区政運営に役立てることを目標としています。													
個別外部監査を実施する。外部評価委員会が推薦してきた複数の監査テーマをもとに、外部監査人選定委員会において個別外部監査で実施する監査テーマを選定する。													
外部監査人選定委員会において選定した監査テーマについて、監査委員の意見聴取及び区議会の議決を経て、個別外部監査を実施する。													
区分	単位	20年度		21年度		22年度		23年度計画	計画(目標値)に対する22年度の達成率 %				
		実績	計画	実績	計画(目標値)	実績							
指標	活動指標(1)	①	件	1	2	1	2	1	1	50.0			
	活動指標(2)	②											
	成果指標(1)	③											
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	4,597	7,455	4,440	8,010	4,593	2,010	22年度予算執行率% 57.3			
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 事業予算については、外部評価委員との連携の下行われる長の要求(長からの財政援助団体等の監査要求も含む)による個別外部監査の実施と、議会からの要求、住民監査請求などにも対応できるよう、計画では2回分の予算計上をしている。 平成22年度の住民監査請求の内、個別外部監査を要求したものは3件であった。このことに対し、監査委員は個別外部監査によることが相当であると認めなかったため、監査委員による監査を実施した。 このため、実績は「長の要求による個別外部監査の実施」1件となり、予算執行率は57.4%となっている。			
	(内)委託費	⑦	千円	4,597	7,445	4,431	8,000	4,589	2,000				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.44 0.00	0.40 0.00	0.42 0.00	0.40 0.00	0.46 0.00	0.01 0.00				
	人件費	⑨	千円	3,982	3,552	3,729	3,568	4,103	89				
	(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	8,579	11,007	8,169	11,578	8,696	2,099				
	単位あたりコスト((⑪-⑥)÷①)	⑫	円	8,579,000	5,503,500	8,169,000	5,789,000	8,696,000	2,099,000				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0		0		
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0		0		
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0				
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	8,579	11,007	8,169	11,578	8,696	2,099				
受益者負担比率⑬÷⑪		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 31

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		個別外部監査の実施	1	件	4,593
(2) 事業実績	長からの要求により「指定管理者制度」について個別外部監査を実施しました。				0

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか <input type="text" value="一部実現している"/>	(2) 協働等の相手 <input type="text" value="企業・個人事業者((3)へ)"/>	
	(3) 協働等の形態 <input type="text" value="委託 [業務量の50%以上に相当]"/>	(4) 協働等の今後のあり方 <input type="text" value="実施継続"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成14年度から開始した事業で、これまで年1回の個別外部監査を実施しています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	外部監査のポイントがコストや効率性中心になり、区民サービスの満足度というような行政事業としての評価が十分ではないといったご意見がある一方、テーマを絞って会計等の専門家による外部の監査を入れることは行政改革を進めるうえで有意義であるというご意見もあります。
	今後の予測	長の要求による個別外部監査については、当面急を要する課題はないことから23年度休止とします。今後の実施については、国の動向、区としての案件の有無などを判断して、必要性があれば再開していきます。
評価と課題		杉並区の監査については、議会、監査委員の監査機能のほかに、これまでのスマート杉並計画のもと個別外部監査を9回実施し、一定の監査・行財政改革がなされてきたといえます。また、行財政改革という点では、従来からの行政評価委員会による評価に加え、22年には新たに事業仕分けも実施され、事業の見直しも一層進みました。一定の成果を上げたこの事業ですが、今後10年の新たな基本構想及び総合計画の策定に向けて施策の見直しが行われているこの時期に、個別に費用をかけて個別監査を行う意義は薄れています。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ○ 現状維持 ● 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	● 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
<p>当面は、議会からの要求、住民監査請求などに対応できるよう、個別外部監査1回分の予算計上をすることとし、外部評価委員との連携の下行われる長の要求(長からの財政援助団体等の監査要求も含む)による個別外部監査については休止としますが、国の動向、区としての案件の有無などを判断して、必要性があれば再開できるよう、条例など実施のための制度は維持していくこととします。</p>			

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 32

22年度の事業実施状況	(1)主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
		庁内印刷業務 例規・要綱データ化 文書交換業務 文書保存廃棄 その他（大型シュレッダー等各種賃借、文書保存箱購入ほか）	5,117,764 1 308 59 3,517	回転 式 所 トン	9,281 4,618 15,151 905
(2)事業実績		①平成22年10月に、地震等により文書管理システムが停止した際の緊急時処理マニュアルの説明会を開催し、手順を確認しました。 ②区長職務代理期間中の文書発送等について、訂正方法等を事前に周知できたため、全庁的に適切に事務処理ができました。 ③新たに中堅職員向けの文書事務研修を実施しました。			

協働等点検	(1)協働等は実現しているか	(2)協働等の相手
	十分に実現している	企業・個人事業者(3)へ
(3)協働等の形態		(4)協働等の今後のあり方
委託 [業務量の50%以上に相当]		実施継続

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	①文書管理システムが稼動し、文書の電子化が進みました。 ②官報や判例集等は、紙からインターネット検索に変わりました。 ③区が発送するもののうち、信書でないものについては、メール便を選択できるようにしました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	公文書等の管理に関する法律が制定されたことに伴い、公文書の作成、管理、保存、廃棄について見直し、区として、改めて説明責任に的確に応えられるように、現在の文書管理規程類及び文書管理システムの検証を進めます。
	今後の予測	現在の文書管理システムが稼動して4年が経過したところですが、今後、公文書管理法の規定に、より合致するシステムに修正する必要があります。
評価と課題		文書管理システム導入後7年を経過しましたが、組織改正にシステムの変更が容易に対応できないことなど課題解決に至っていないものがあります。今後のシステム変更を見据えて、現システムの問題点や法律施行により地方自治体が取り組むべき課題等を整理・研究を続けていきます。なお、現行の規程類の見直しも併せて行い、区が作成する文書の管理、保存、廃棄の一連の流れを点検し、情報公開請求に十分応えられるように職員に周知していきます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
	II 事業の改善		<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
① 区民への説明責任を果たすため、区が作成する行政計画及び歴史・文化的価値のある文書等について、適正に保存するための場所が必要になると考えますので、区施設の有効利用ができないか情報を収集し活用を図ります。 ② 現在の起案文書の電子化率は、おおよそ60パーセントですが、紙文書の保存場所の延命を図る意味でも、文書の電子化を引き続き進めていきます。 ③ 庁内印刷の経費は、紙代を除き総務課が負担しています。しかし、印刷業者への発注と異なり、各課が印刷経費を安価と誤解していることも考えられるため、文書事務説明会等の際に、必要以上にカラー印刷しないように指導するとともに、より安価なオフセット印刷機を活用するように周知していきます。 ④ オフセット印刷機が老朽化しつつあるので、最新の簡易印刷機器等について研究し、スタッフ部門として印刷に支障が生じないように注意をします。			

特記事項	新たに印刷専門の職員が配属されたので、できるだけ早くに技術の習得ができるように側面から支援し、区の印刷業務の充実を目指します。
------	---

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		秘書事務		款	2	項	1	目	6	事業	4	整理番号	33	
担当部課名		区長室総務課		係名	秘書係		連絡先電話番号		1442		昨年度整理番号	31		
上位施策No・施策名										70	内部事務等の適正かつ効率的な執行		予算事業区分	既定事業
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		区関係団体(者)、職員、区民等		根拠法令等		(1) 区長交際費執行基準 (2)						
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		区長、副区長の区政運営が円滑に進むように必要な手配・準備・接客等の秘書事務を行う。		活動指標名(式)		(1) 区総人口数(各年4月1日現在) (2)						
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		○区長・副区長のスケジュール調整 ○関係団体等への慶弔経費等の支出 ○訪問客への接客		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
		成果指標名(1)		算定式・指標の説明等		成果指標名(2)		算定式・指標の説明等						
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %			
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)	①	人	536,657	539,584	539,584	539,211	539,211	538,703	100.0				
	活動指標(2)	②												
	成果指標(1)	③												
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	3,079	4,513	3,038	3,810	3,377	4,030	22年度予算執行率% 88.6				
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項 平成23年度から職員1名が増員となった。				
	(内) 委託費	⑦	千円	88	203	84	149	78	149					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	2.35 0.00	2.25 0.00	2.41 0.00	2.25 0.00	2.44 0.00	3.20 0.00					
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	21,268	19,978	21,398	20,070	21,765			28,544		
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0			0		
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	24,347	24,491	24,436	23,880	25,142	32,574					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	45	45	45	44	47	60					
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0			0		
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0			0		
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0					
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0					
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0					
差引: 一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	24,347	24,491	24,436	23,880	25,142	32,574					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 33

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)	
		区長交際経費				2,637
		秘書事務				740
		その他 ()				0
	(2) 事業実績	関係団体等との良好な関係を維持するため、主催の会合等へ出席する際の交際費、区政功労者など関係者の死亡に伴う香典等を区長交際費執行基準に照らし、適正に執行しました。				

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか <input type="text" value="実現していない(実現は困難)((4)へ)"/>	(2) 協働等の相手 <input type="text"/>	
	(3) 協働等の形態 <input type="text"/>	(4) 協働等の今後のあり方 <input type="text" value="行政直轄"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	交際費の支出については、特に飲食を伴う会合への参加に対し、厳しい目が向けられています。これに対し、19年 2月から区公式ホームページにおいて区長交際費の公開を実施し、透明性を高めるとともに、毎月のデータ更新等により、区民への理解を図るよう努めています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	当該事業の執行による、直接的な区政に対する効果・影響の検証は困難です。
	今後の予測	関係団体との関係の維持・発展のため、交際費や香典などの経費を急激に縮減させて行くことは困難です。しかし、常に予算の適正執行を念頭におき、交際費をめぐる環境の変化にも敏感に対応していきます。
	評価と課題	区長・副区長の政策判断、職務執行が的確かつ迅速に行えるようスケジュールの調整・資料の準備等に努めました。また関係団体との良好な協力関係を維持するため、区長交際費の適切な執行を行うとともに、区長室来訪者への温かい接客に努めました。特別職の随行を通して、区政の動き等の情報を収集するとともに、収集した情報を整理し、特別職等からの問い合わせに迅速に応じられるように努めます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input checked="" type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更
	交際費については、関係団体との関係の維持・発展のために必要ですが、交際費をめぐる環境の変化にも敏感に対応していくものとします。また、区公式ホームページにおいて、区長交際費を公開し透明性を高めるとともに、毎月のデータ更新等により、区民への理解を図るよう引き続き努めていきます。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		会計・物品管理事務		款	2	項	2	目	1	事業	1	整理番号	47
担当部課名		会計管理室会計課		係名	出納係			連絡先電話番号	3912		昨年度整理番号	45	
上位施策No・施策名		70 内部事務等の適正かつ効率的な執行		予算事業区分							既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等		(1) 地方自治法 (2) 杉並区会計事務規則・杉並区物品管理規則							
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)		活動指標名(式)		(1) 公金収納・支払件数 (2) 所管数(物品管理者数)							
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標							
		○公金収納・支払に関する事務 ○決算書の作成 ○金融商品の運用 ○物品管理の指導統括、調査等 ○職員用机等の調達、修理等 ○区政経営報告書の検討 ○新公会計制度の導入と財務諸表の公表		成果指標名(1)		積立基金平均利回り							
				算定式・指標の説明等									
				成果指標名(2)									
				算定式・指標の説明等									
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画					
指標	活動指標(1)	①	件	2,179,354	2,179,354	2,001,488	2,001,488	1,662,335	1,662,335	83.1			
	活動指標(2)	②	機関	133	133	138	138	139	139	100.7			
	成果指標(1)	③	%	0.945	0.800	0.903	0.800	0.826	0.700	103.3			
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	57,092	87,525	77,855	69,222	57,235	66,750	22年度予算執行率%	82.7		
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項			
	(内) 委託費	⑦	千円	47,626	75,430	66,996	54,063	42,849	53,116				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	19.05 1.00	17.00 0.00	18.87 0.00	17.00 0.00	18.25 0.00	17.00 0.00				
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	172,403	150,943	167,547	151,640	162,790	151,640			
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	2,800	0	0	0	0	0			
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	232,295	238,468	245,402	220,862	220,025	218,390				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	107	109	123	110	132	131				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0			
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0			
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0	0			
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0	0			
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源⑪-⑰		⑱	千円	232,295	238,468	245,402	220,862	220,025	218,390				
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 47

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規 模	単 位	事業費(千円)
		公金支払手数料の支払い			
		事務用机等の購入・修繕			5,050
		資金管理支援業務委託			3,000
		新たな公会計制度			6,393
		その他 (収納テープ作成委託ほか)			30,929
	(2) 事業実績	公金の収納及び支払、物品管理、資金管理を行うとともに、決算に関する歳入歳出決算書や区政経営報告書等の作成を行いました。また、企業会計手法を応用した財務書類をまとめた報告書を作成し、公表しました。新たな取組として、資金運用の知識・経験のある基金管理監を設置し、支援・助言を得た資金管理ができました。平成21年度から発行を始めた区政経営報告書は、主要な計画事業の達成状況を見やすくするなどの改善を行いました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	出納業務: ①委任した主管課審査件数 H15(10万円以下)26,000件→H16(50万円以下)31,000件→H21(50万円以下)14,866件②住民税特別徴収分OCR化による手処理件数(14年実施) H13:498,000件→H15:206,000件→H21:25,675件 資金管理: ①13、14年度から会計、基金を総合化しスケールメリットを活かした運用を行いました。②17年度より民間シンクタンクの活用から始まり、22年度からは基金管理監を登用して運用効率を高めました。物品管理: 重要物品点数 S50:978点→H19(50万円以上)3,306点→H21(百万円以上)1,444点
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	出納業務: 収納方法の多様化 資金管理: 資金管理、運用の透明性の確保
	今後の予測	出納業務: 公金収納方法の多様化のニーズは今後増していくものと思われます。
	評価と課題	金利低下など厳しい状況のなか、適切な資金運用により成果指標は、目標数値を上回る平均利回りを確保することができました。また、区政経営報告書は、計画事業結果を詳しくするなど内容を充実しました。今後は、東日本大震災と金融機関システム障害の経験から、大規模な災害やシステムトラブルが発生した場合でも出納事務や資金管理を継続する危機管理体制づくりに取り組むとともに、低迷した経済状況下での資金管理について、基金管理監の助言を得ながら確実な運用を行っていきます。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ○ 現状維持 ● 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ● 実施方法の変更
	出納業務: 財務会計システムの更なる安定稼働を目指します。またマニュアル等の充実をはかり会計事務の効率化を追求していきます。資金管理: 適切に主管課の収支を管理することで、的確な運用を行います。物品管理: 職員ポータルサイトを利用して、保管物品のあつ旋等有効活用を図ります。 会計制度改革: 区政経営報告書をさらに見やすく、調べやすくなるための検討を利用者の視点で継続して行います。また、新公会計制度により作成した財務情報を使って、将来の財務状況の推計など企画、財政部門はもとより、所管課でも資料を活用して事務事業の改善に取り組むことができる基盤整備に努めます。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		監査委員・事務局の運営		款	2	項	4	目	1	事業	1	整理番号	54
担当部課名		監査委員事務局		係名		連絡先電話番号		3824		昨年度整理番号		50	
上位施策No・施策名		70 内部事務等の適正かつ効率的な執行		予算事業区分		既定事業							
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	22年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			根拠法令等		(1) 地方自治法 (2) 杉並区監査委員条例						
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○ 区の財務会計及び事務執行について、公正かつ効果的に各種監査を実施し、区民から信頼される区政の実現を目指します。			活動指標名(式)		(1) 監査実施件数 (2) 監査委員会会議開催回数						
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○ 毎年度、監査委員が決定する監査方針に基づき、定期監査、工事監査、行政監査、財政援助団体等監査、例月出納検査、決算審査、基金運用状況審査、健全化判断比率審査を実施する。 ○ 住民監査請求による監査を実施する。 ○ 上記の監査を円滑に実施するため、監査委員会会議の運営を行う。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標 成果指標名(1) 指摘・注意等に関する対応状況 算定式・指標の説明等 成果指標名(2) 指摘及び注意事項の件数 算定式・指標の説明等						
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)	①	件	246	244	232	223	246	243	110.3			
	活動指標(2)	②	回	54	36	55	48	59	48	122.9			
	成果指標(1)	③	%	100	100	100	100	100	100	100.0			
	成果指標(2)	④	件	39	/	43	/	51	/				
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	10,345	11,075	10,047	10,843	9,861	11,155	22年度予算執行率%		90.9	
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項			
	(内) 委託費	⑦	千円	695	839	630	720	601	722				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	6.89 2.00	6.00 2.00	7.90 2.00	6.00 2.00	7.76 2.00	6.00 2.00				
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	62,355	53,274	70,144	53,520	69,219				53,520
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	5,600	5,586	5,586	5,900	5,900				5,900
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	78,300	69,935	85,777	70,263	84,980	70,575				
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	318,293	286,619	369,728	315,081	345,447	290,432				
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0				0
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0				0
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0				0
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0				0
特定財源計⑬+⑭+⑮+⑯		⑰	千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源⑪-⑰		⑱	千円	78,300	69,935	85,777	70,263	84,980	70,575				
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 54

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
				工事監査に伴う技術調査業務委託	5
		委員報酬	3	人	7,260
		決算審査意見書作成	400	部	273
		事務費			1,603
		その他 (旅費、委員費用弁償、交際費)			151
	(2) 事業実績	定期監査は庁内各課及び63施設を対象に実施した結果、指摘事項が4項目8件、注意事項が11項目25件、財政援助団体等監査は79団体を対象に実施した結果、注意事項が4項目18件ありました。また、行政監査は「エコスクール事業について」をテーマに実施しました。さらに、工事監査5件、例月出納検査、決算審査、基金運用状況審査、健全化判断比率審査に加え、住民監査請求6件(内1件は却下)の監査を行いました。			

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体((3)へ)	
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当]	(4) 協働等の今後のあり方 実施継続	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成3年の自治法改正により、監査委員が1名常勤となり、また、行政監査ができるようになり、平成4年度から実施しています。平成9年の自治法改正により、外部監査制度が創設されました。工事監査の外部調査委託を平成16年度に試行し、平成17年度より本格実施しています。平成19年度決算から地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき健全化判断比率審査を実施しています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	公正不偏の態度で効果的な監査を実施し、多様な課題に直面する行財政運営のチェック機能を果たすことが期待されています。
	今後の予測	区の財政環境が、より一層厳しさを増す中で、これまで以上に健全な財政運営の確保、効率的で質の高い区政を実現することが求められてきており、財務に関する事務の執行などを監査する監査委員の職務の重要性は高まる傾向にあります。
	評価と課題	公正性、効率性を主眼に定期監査をはじめ行政監査、決算審査など246件の監査を実施し、不適切な事務処理などについて指摘・注意等を行った結果、改善など適切な対応がされました。また、決算審査意見書については、グラフ・表等を活用すると共に、コメントに見出しをつけ、よりわかりやすいものとなりました。23年度も引き続き、公正不偏の態度で効果的な監査を実施し、行財政運営のチェック機能を果たしていきます。

改善・見直しの方向 (中長期)	今後の方向性 (見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
	公正かつ効果的に各種監査を実施し、多様な課題に直面する行政運営のチェック機能を果たすために、監査実施毎に方法の検証を行い、監査の課題を把握し、監査の充実に努めます。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		国民健康保険財政基盤安定繰出金 款 4 項 1 目 1 事業 29						整理番号	141				
担当部課名		政策経営部財政課			係名	連絡先 電話番号		1423		昨年度 整理番号	137		
上位施策No・施策名		70 内部事務等の適正かつ効率的な執行						予算事業区分 既定事業					
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策 番号	施策 番号	事業 コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理					根拠 法令 等	(1) 国民健康保険法第72条の3 (2) 国民健康保険法附則第24条					
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○国民健康保険事業会計の健全な運営を確保する。					活動指標名(式)	(1) (2)					
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○国民健康保険事業の財政の基盤の安定に資するため、政令の定めるところにより算出した額(保険料の減免相当分)を一般会計から繰り出している。					成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					
	成果指標名(1)												
	算定式・指標の説明等												
	成果指標名(2)												
	算定式・指標の説明等												
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %		
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績		
指標	活動指標(1)	①											
	活動指標(2)	②											
	成果指標(1)	③											
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	914,461	918,993	918,993	1,327,363	1,306,449	935,387	22年度予算執行率% 98.4			
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項			
	(内) 委託費	⑦	千円	0	0	0	0	0	0				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.01 0.00	0.01 0.00	0.01 0.00	0.01 0.00	0.01 0.00	0.01 0.00				
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	91	89	89	89	89				89
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0				0
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	914,552	919,082	919,082	1,327,452	1,306,538	935,476				
	単位あたりコスト	⑫	円										
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0						
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0						
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0							
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0							
特定財源計		⑰	千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源		⑱	千円	914,552	919,082	919,082	1,327,452	1,306,538	935,476				
受益者負担比率	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		国民健康保険高額療養費資金及び出産費資金貸付基金繰出金		款	4	項	1	目	1	事業	33	整理番号	143	
担当部課名		保健福祉部国保年金課		係名	国保給付係		連絡先電話番号	1273		昨年度整理番号	140			
上位施策No・施策名		70 内部事務等の適正かつ効率的な執行		予算事業区分							既定事業			
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	17	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業		
	対象	<input type="checkbox"/> 個人	<input type="checkbox"/> 世帯	<input type="checkbox"/> 団体	<input checked="" type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等	(1) 国民健康保険高額療養費貸付及び出産費資金貸付基金条例 (2)					
	事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○貸付基金総額を維持。						活動指標名(式)	(1) 繰り出し回数 (2)					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	○国民健康保険高額医療費貸付及び出産費資金貸付基金で発生した不納欠損が生じた場合に補填する。						成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					
								成果指標名(1)						
								算定式・指標の説明等						
								成果指標名(2)						
								算定式・指標の説明等						
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %			
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)	①	回	1	0	1	0	1	0	0.0				
	活動指標(2)	②								0.0				
	成果指標(1)	③								0.0				
	成果指標(2)	④								0.0				
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	373	353	353	180	180	0	22年度予算執行率%		100.0		
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内) 委託費	⑦	千円	0	0	0	0	0	0					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					0.00
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	0	0	0	0					0
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0					0
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	373	353	353	180	180	0					
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①	⑫	円	373,000		353,000		180,000						
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0					0
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0					0
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0					0
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0					0
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0					
差引: 一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	373	353	353	180	180	0					
受益者負担比率⑬÷⑪	⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0							

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 143

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		基金繰出金	1	回	180
		その他 ()			0
	(2) 事業実績				

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか <input type="text"/>	(2) 協働等の相手 <input type="text"/>	
	(3) 協働等の形態 <input type="text"/>	(4) 協働等の今後のあり方 <input type="text"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成18年度に国民健康保険高額医療費貸付基金及び国民健康保険出産費資金貸付基金を統合し、運用面において効率化を図りました。その際に統合後の運用基金額にするため、繰出しを行いませんでした。 また、運用基金であるため、不納欠損により消滅した基金額の補填のため繰出しを行いました。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
評価と課題		

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充	● 現 状 維 持	○ 縮 小	○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更	○ 実施方法の変更		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 179

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)	
		実績なし				
		その他 ()				0
(2) 事業実績						

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか	(2) 協働等の相手	
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
	(3) 協働等の形態	(4) 協働等の今後のあり方	
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	当初予算額の推移 平成(14)年度2,629,642千円、(15)2,422,070千円、(16)2,505,265千円、(17)2,780,140千円、(18)2,923,966千円、(19)2,896,954千円、(20)375,518千円、(21)50,207千円、(22)21,457千円
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	老人保健医療会計は、20年度から老人保健法による医療給付制度が後期高齢者医療制度に移行しました。3年間の経過期間が過ぎ、22年度をもって当該特別会計は終了しました。
評価と課題		20年度から老人保健法による医療給付制度が後期高齢者医療制度に移行し、22年度をもって当該特別会計は終了しました。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input checked="" type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 180

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
		繰出金			4,582,009
		その他 ()			0
(2) 事業実績					

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか	(2) 協働等の相手	
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
	(3) 協働等の形態	(4) 協働等の今後のあり方	
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	当初予算額の推移 平成(14)年度2,709,963千円、(15)2,920,139千円、(16)3,134,502千円、(17)3,434,152千円、(18)4,114,486千円、(19)4,299,792千円、(20)4,685,111千円、(21)4,450,338千円、(22)4,578,633千円
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	今後も予算額に増減はあるものの、同規模程度で推移するものと予測します。
評価と課題		介護保険事業の実績に応じて、必要となる財源を一般会計から繰出し、特別会計を補完することで、円滑な事業運営が図られます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 181

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)	
		繰出金				3,906,620
		その他 ()				0
(2) 事業実績						

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか <input type="text"/>	(2) 協働等の相手 <input type="text"/>	
	(3) 協働等の形態 <input type="text"/>	(4) 協働等の今後のあり方 <input type="text"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	当初予算の推移 平成(20)年度3,699,609千円、(21)3,902,152千円、(22)4,188,670千円
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	今後も予算額に増減はあるものの、同規模程度で推移するものと予測します。
評価と課題		後期高齢者医療事業の実績に応じて、必要となる財源を一般会計から繰出し、特別会計を補完することにより、円滑な事業運営が図られます。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		後期高齢者医療財政基盤安定繰出金 款 4 項 1 目 2 事業 40						整理番号	182				
担当部課名		政策経営部財政課			係名	連絡先 電話番号	1423	昨年度 整理番号	180				
上位施策No・施策名		70 内部事務等の適正かつ効率的な執行				予算事業区分 既定事業							
事務事業の概要	事業開始	平成	▼	20	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	政策 番号	施策 番号	事業 コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 後期高齢者医療事業会計					根拠 法令 等	(1) 高齢者の医療の確保に関する法律第99条 (2)					
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか) ○後期高齢者医療事業会計の健全な運営を確保する。					活動指標名(式)	(1) (2)					
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○後期高齢者医療事業の財政基盤の安定に資するため、政令の定めるところにより算出した額(保険料の減免相当分)を一般会計から繰り出している。					成果指標	※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					
		成果指標名(1)											
		算定式・指標の説明等											
		成果指標名(2)											
		算定式・指標の説明等											
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %		
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画					
指標	活動指標(1)	①											
	活動指標(2)	②											
	成果指標(1)	③											
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	459,037	497,167	497,166	530,248	515,326	542,443	22年度予算執行率%		97.2	
	(内)投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項			
	(内)委託費	⑦	千円	0	0	0	0	0	0				
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.01	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00	0.01	0.00
	人件費	(内)常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	91	89	89	89	89	89			
		(内)非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0			
	総事業費⑤+⑨+⑩			⑪	千円	459,128	497,256	497,255	530,337	515,415	542,532		
	単位あたりコスト(⑪-⑥)÷①			⑫	円								
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0			
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0			
都からの補助金等		⑮	千円	0	0	0	0	0	0				
その他の補助金等		⑯	千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計(⑬+⑭+⑮+⑯)		⑰	千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源(⑪-⑰)		⑱	千円	459,128	497,256	497,255	530,337	515,415	542,532				
受益者負担比率⑬÷⑪			⑲	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 182

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)	
		基盤安定繰出金				515,326
		その他 ()				0
(2) 事業実績						

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか	(2) 協働等の相手	
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
	(3) 協働等の形態	(4) 協働等の今後のあり方	
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	当初予算額の推移 平成(20)年度509,668千円、(21)479,930千円、(22)601,012千円
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	今後も予算額に増減はあるものの、同規模程度で推移するものと予測します。
評価と課題		政令で定めるところにより算出した額を一般会計から繰出し、後期高齢者医療の財政基盤の安定を図っています。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	<input type="radio"/> 拡 充 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮 小 <input type="radio"/> 廃 止
		II 事業の改善	<input type="radio"/> 事業内容の変更 <input type="radio"/> 実施方法の変更

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		特別区競馬組合分担金		款	10	項	1	目	1	事業	1	整理番号	571	
担当部課名		区長室総務課		係名	総務係			連絡先電話番号	1435		昨年度整理番号	566		
上位施策No・施策名		70 内部事務等の適正かつ効率的な執行		予算事業区分								既定事業		
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	25	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業			
	対象	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理			特別区競馬組合		根拠法令等		(1) 特別区競馬組合同規約第17条, 18条 (2)					
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)			特別区競馬組合に必要な経費を23区の分担金をもって充てるための支出		活動指標名(式)		(1) 分担金支出回数 (2)					
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順)			○特別区競馬組合に対する分担金の支出準備		成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標					
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %			
			実績	計画	実績	計画(目標値)	実績	計画						
指標	活動指標(1)	①	回	0	1	0	1	0	1	0.0				
	活動指標(2)	②												
	成果指標(1)	③												
	成果指標(2)	④												
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	0	1	0	1	0	1	22年度予算執行率% 0.0				
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	特記事項				
	(内) 委託費	⑦	千円	0	0	0	0	0	0					
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.00 0.00	0.01 0.00	0.00 0.00	0.01 0.00	0.00 0.00	0.01 0.00					
	人件費	⑨	千円	0	89	0	89	0	89					
	(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0					
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	90	0	90	0	90					
	単位あたりコスト	⑫	円	90,000		90,000		90,000						
	財源	⑬	千円	0	0	0	0	0	0					
	国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0					
都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0	0						
その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0	0						
特定財源計	⑰	千円	0	0	0	0	0	0						
差引: 一般財源	⑱	千円	0	90	0	90	0	90						
受益者負担比率	⑲	%	0.0		0.0		0.0							

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 571

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)	
		実績なし				
		その他 ()				0
(2) 事業実績	特別区競馬組合からの分担金請求が無かったため、支出はありません。					

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか	(2) 協働等の相手	
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
	(3) 協働等の形態	(4) 協働等の今後のあり方	
	<input type="text"/>	行政直轄 <input type="text"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成10年度まで各区から7,000,000円を分担金として支出していました。平成11年度予算の際に、一般会計と競馬事業特別会計の統合を機に各区の負担軽減を図るため分担金を未計上としました。ただし、競馬組合格約第17条に「この組合に必要な経費は、関係特別区の分担金及びその他組合に属する収入をもって充てる」とあるため、歳出予算上、科目存置としています。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	特にありません。
	今後の予測	
評価と課題		娯楽の多様化や経済不安などによる競馬離れから、地方競馬の運営は厳しい状況にあり、特別区競馬組合も例外ではありません。しかし、レースイベントや施設の充実、勝ち馬投票券の充実、インターネットによる在宅投票システムの整備などにより、売上を確保しております。東日本大震災の影響などありますので断定はできませんが、前年並みの売上が達成できれば、分担金の支出はないものと見込んでおります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充 ● 現状維持 ○ 縮 小 ○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更 ○ 実施方法の変更
	区としては分担金の支出がないことを望みますが、特別区競馬組合の規定に基づき、請求があった場合には支出の必要があるため、科目存置とします。		

特記事項	
------	--

平成23年度 杉並区事務事業評価表

事務事業名		小切手支払未済償還金		款	10	項	2	目	1	事業	1	整理番号	572
担当部課名		会計管理室会計課		係名	出納係			連絡先電話番号	3912		昨年度整理番号	567	
上位施策No・施策名		70 内部事務等の適正かつ効率的な執行		予算事業区分								既定事業	
事務事業の概要	事業開始	昭和	▼	年度	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野		政策番号	施策番号	事業コード	<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 主要事業	
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 区民、事業者など			根拠法令等		(1) 地方自治法施行令 (2) 小切手法						
	事業の目的・目標	(対象をどのような状態にしたいのか)			活動指標名(式)								
	活動内容	(事務事業の内容、やり方、手順) ○小切手振出済金額のうち一年を経過し、支払いの終了しない資金の歳入への組入れを行う。 ○小切手の所持人から償還請求を受けた場合の支払いを行う。			成果指標		※(代)=適当な指標がない場合の代替指標						
				成果指標名(1)									
				算定式・指標の説明等									
				成果指標名(2)									
				算定式・指標の説明等									
区分		単位	20年度		21年度		22年度		23年度		計画(目標値)に対する22年度の達成率 %		
			実績		計画		実績		計画(目標値)		実績		
指標	活動指標(1)	①	件	0	0	0	0	0	0	0	0.0		
	活動指標(2)	②											
	成果指標(1)	③											
	成果指標(2)	④											
総事業費・コスト把握	事業費	⑤	千円	0	1	0	1	0	1	0	22年度予算執行率% 0.0		
	(内) 投資的経費等	⑥	千円	0	0	0	0	0	0	0	特記事項		
	(内) 委託費	⑦	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)	⑧	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			0.00
	人件費	(内) 常勤職員分(超勤分含)	⑨	千円	0	0	0	0	0	0			0
		(内) 非常勤職員分	⑩	千円	0	0	0	0	0	0			0
	総事業費⑤+⑨+⑩	⑪	千円	0	1	0	1	0	1	0			1
	単位あたりコスト	⑫	円										
	財源	受益者負担分	⑬	千円	0	0	0	0	0	0			0
		国からの補助金等	⑭	千円	0	0	0	0	0	0			0
		都からの補助金等	⑮	千円	0	0	0	0	0	0			0
		その他の補助金等	⑯	千円	0	0	0	0	0	0			0
特定財源計		⑰	千円	0	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源		⑱	千円	0	1	0	1	0	1	0			
受益者負担比率	⑲	%		0.0		0.0		0.0		0.0			

平成23年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 572

22年度の事業実施状況	(1) 主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)	
		実績なし				
		その他 ()				0
	(2) 事業実績					

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか	(2) 協働等の相手	
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	
	(3) 協働等の形態	(4) 協働等の今後のあり方	
	<input type="text"/>	<input type="text"/>	

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	これまで実績はありません。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	
	今後の予測	
	評価と課題	実績はありませんが、発生した場合に備えて予算措置をしているため今後も同様な対応を図ります。

改善・見直しの方向(中長期)	今後の方向性(見直しの視点)	I 事業の方向性	○ 拡 充	● 現状維持	○ 縮 小	○ 廃 止
		II 事業の改善	○ 事業内容の変更		○ 実施方法の変更	
	発生した場合に備えて予算措置をしているため改善はありません。					

特記事項	
------	--